

わが国唯一のマテリアル・ハンドリング業績の顕彰制度

日本MH大賞

日本MH大賞は、わが国のMHに関わる技術・理論などの更なる向上を目的とし、個人・グループ・企業の優れた研究・開発や改善・合理化を顕彰し、その業績を称え関連企業の振興を図るとともに、広く普及・啓発を図るものであります。

本大賞は、故下地亀松氏（当協会元顧問）の当協会およびわが国MH業界に対する多年の功績を記念して、1987年（昭和62年）に発足した「下地賞」が基礎となっております。

平成18年の当協会創立50周年を機に、従来からある「優良MH機器ならびにシステム大賞」と「下地賞」を一体化した、権威のある顕彰制度であります。MH機器・システムおよび情報システムにおいて、それぞれ研究・開発と改善・合理化などを審査いたします。

その審査については、応募された内容について「経済性」「合理性」「独創性」「安全性」「社会的貢献度」「将来性」などについて選考を行い、特に優れた作品を「日本MH大賞」に決定します。

平成28年度日本MH大賞審査結果

『大賞』	電動アシスト台車	西部電機株式会社 殿
『優秀賞』	倉庫作業分析ツール「ロジタン」	株式会社 日通総合研究所 殿
『奨励賞』	トラック輸送の積載効率を最大200%に向上	ティ・エス・ケイ株式会社 殿
	物流の「安全・安心・快適」	株式会社 カナツー 殿
	機能と使いやすさを徹底追及した次世代キャリア “CC-101KB2”	株式会社 ナンシン 殿